

てがたんレポート Vol. 3 No. 3 (2006年3月：通巻24号)

★観察コース：3班に分かれて観察

- ・A,B班：鳥博スタート→駐車場前田んぼ→親水広場ミニ手賀沼→手賀大橋下漁協前→噴水広場周辺→釣り堀わき広場（まとめ&解散）
- ・C班：鳥博スタート→駐車場前田んぼ→3.5.15号線→市民農園前のフジ棚→手賀沼遊歩道→釣り堀わき広場（まとめ&解散）

★観察日時／天気：2006年3月11日（土）10:00～12:00／晴れ

★参加人数：38人（うち小学生4人、市外からの参加20人、始めての参加16人）

★観察案内&記録：

- ・ボランティア・スタッフ：9人（伊東茂子、岡廣志、小野寺喜四郎、木村稔、小泉伸夫、首藤恵美子、染谷迪夫、弘實さと子、古川克彌）（敬称略・五十音順）
- ・鳥博職員：石田守一、時田賢一、斎藤安行

観察記録

今回のテーマ
★春のきざし
・鳥の繁殖行動
・花
・動き出した昆虫
など…

【観察した野鳥】

カツツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、キジ、クイナ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

（帰化鳥、家禽）コブハクチョウ、カナダガン、バリケン、アヒル

・季節の情報……囁りの観察された鳥

セグロセキレイ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ

・定点観察：手賀大橋下漁協前のオナガガモの個体数→21羽

【観察した昆虫】

- ・鱗翅目……モンシロチョウ、モンキチョウ、キタテハ、ルリタテハ、テングチョウ（以上成虫）、オオミノガ
- ・甲虫目……コガタルリハムシ、ナナホシテントウ、ヒメアカホシテントウ、アオバアリガタハネカクシ（注：皮膚に炎症を起こす有毒物質ペデリンをもつ）
- ・半翅目……ヨコヅナサシガメ（幼虫）、ナガメ
- ・直翅目……ヒシバッタ、ハネナガヒシバッタ、タンボコオロギ

【観察した植物】

- ・花を観察した草本類……セイヨウタンポポ*、オニノゲシ*、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ*、オオイヌノフグリ*、タチイヌノフグリ*、ナズナ、タネツケバナ、コハコベ*、オランダミミナグサ*、スズメノカタビラ、タガラシ、ヘビイチゴ、ツメクサ、アカカタバミ（カタバミの変種）

*印は外来種

- ・花を観察した木本類……ヤマハンノキ、ヤブツバキ、カンツバキ、ウメ、サンシュユ（以上いずれも植栽）

・その他……ツクシ（スギナの胞子茎）

・定点観察：親水広場じゃぶじゃぶ池わきのハンノキの花→雄花は花粉を全て飛散

3月の観察アルバム

